

ほけんだよし 6月

社会福祉法人春献美会 いずみ保育園 令和8年6月号

5月は30°C近い暑い日や雨降り肌寒い日もありました。梅雨入り近いこの時期は気圧で体調を崩したり、気分が塞いだりすることもあります。一方で、しとしとと揺らぐ雨音は心を落ち着けてくれることもあります。そんな雨の音をゆったりと聞いてみるのも良いかもしれませんね。

雨の日は道端のマンホール等思わぬところでケガをしたり、傘で周りが見えにくい等、危険も潜んでいます。ケガや体調不良が増える梅雨期。雨の日の登降園は、十分気をつけてくださいね。

6月の保健目標

- ・ 歯を大切に
- ・ 梅雨期を衛生に気を付け健康に過ごす

6月の保健行事

- 2日(火) 全園児健診
- 5日(金) 歯磨き指導(3, 4, 5歳児)
- 18日(木) 歯科健診



※6月5日の歯みがき指導で準備していただく物は、ハグモで配信しています。ご確認ください。

18日(木)は歯科健診です



- ・ 9時から開始です。遅れずに登園をお願いします。
- ・ 朝はしっかり歯みがきをして登園してください。
- ・ 「虫歯で治療中」や「歯について相談がある」場合には、事前に担任までお知らせください。
- ・ 当日お休みの予定で、健診だけ受けて帰宅される方は、前日までにお知らせください。当日は9時から9時30分の間に、ホールにお越しください。

※保育園での歯科健診は、集団でのスクリーニング検査です。多くの子どもを対象に、保護者や子どもの気付いていない虫歯や歯並び等を短時間で鑑別することが目的です。結果によっては受診をお勧めすることがあります。一人ひとりの子どもにあった指導等健康づくりの面からも、確実な診断が可能な「歯科医院での定期健診」を合わせて受けると良いですね。



大人の歯を
きれいに生やす
コツ

小 学生になると、子どもの歯がぬけ大人の歯にどんどん生えかわります。

大人の歯は、子どもの歯よりも大きく、本数も多いです。だから、あごの骨が成長せず子どもサイズのままだと、大人の歯がきれいに並ぶにはスペースが足りなくなってしまう。歯が重なって生えてしまうことも。



歯が生える場所を広げるには？

大切なのは、しっかりかんで食べること。よくかむと、その刺激であごの骨が成長し、歯が生えるスペースが広がります。



「ひとくち30回」をめやすに、よくかんで食べましょう。